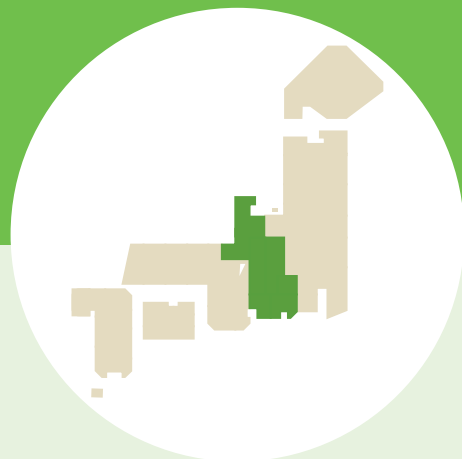


# 東海・北陸



| p.22 岐阜県                                                                            | p.23 静岡県                                                                            | p.24 静岡県                                                                            | p.25 愛知県                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 松居正樹さん                                                                              | 水島ともえさん                                                                             | 袴田進吾さん                                                                              | 鈴木利和さん                                                                                |
|  |  |  |  |
| テニス                                                                                 | インディアカ                                                                              | サッカー                                                                                | スポーツチャンバラ                                                                             |





## テニス 「清流につぼん ど真ん中」(監督兼選手)

まつ い まさ き  
松居 正樹 さん

70 歳

● 参加歴：1 回目

## 高齢者が輝くねんりんピックで幸せを実感

高齢者にとって、健康、社会参加、生き甲斐、ふれあいは最重要テーマです。私は今回、初めてねんりんピックへ参加しましたが、このような課題克服の一助が大会の意義だと知りました。また、ねんりんピックの関係各位の準備や配慮にも感心しました。大会前に配布された行動マニュアル、横浜の地下鉄駅構内の歓迎ポスター、大会会場での多数ののぼり旗、大会特製弁当等々には驚きました。会場周辺では関連イベントも多く開催され、参加人数が延べ62万人というのにもびっくりしました。これは、ねんりんピックが高齢者のみならず、多くの若者の参加の上に成り立っているからだと思います。総合開会式では、岐阜県選手が全員集合しました。同じユニフォームで、同じ思いを持つ多くの仲間がいて大変心強く思いました。日本に生まれて本当に幸せだと思いました。

我々テニスチームは、3月27日の岐阜県予選、10月8日の岐阜県結団式、各市町村での激励会を経て、11月11日から14日の本大会に臨みました。大会を控えた11月2日には全選手が集合し、練習会と共に、今後のスケジュールと体温・体調記録アプリケーション「GLOBAL SAFETY」によるコロナ対策の確認を行いました。試合初日の予選リーグでは、名古屋市に3対0、埼玉県に3対0、北九州市に2対1で勝つことができました。2日目の1位トーナメントの初戦で神戸市と対戦し、70歳男子は惜しくも敗れ、60歳女子は勝ちました。運命の60歳男子はタイブレークの末に敗れ、1対2で1R敗退となりました。予選と本戦を通じて、60歳女子は安定した戦いで、ど

のチームと対戦しても勝利すると思われました。一方、70歳・60歳男子は、それぞれ持ち味を発揮しましたが、宿題が課せられた形になりました。しかし、大会を通じてメンバーの結束がより強固となり、2年後のねんりんピックに再挑戦しようと誓い合いました。

試合会場には何人か顔なじみもいて、より深く交流するきっかけとなりました。また、「ねんりんピック岐阜2021」に参加予定だった方、今は他県居住だが、岐阜県出身の方が挨拶に来てくれました。岐阜県選手団として特筆すべきは、健康マージャンで参加された97歳の服部清さんが今回の最高齢者だったことです。いつまでも健康でいたいと思いました。

最後に、このような場を与えてくださった関係各位に深く感謝いたします。ねんりんピックが、ますます発展・継続されることを望んでいます。



メダルを胸に、2年後の出場を誓い合った。(前列左端)



## インディアカ 「ウイング」(監督兼選手)

みずしま

水島 ともえさん

71歳

● 参加歴：1回目

## チームで団結し、得失点差で優勝！

「ねんりんピックかながわ 2022」への参加要請があったのは、突然のことでした。出場資格を得たからには頑張ってみようとチームで団結。ただ、大会初日はとても緊張しました。全5チームの総当たりで、5勝3敗。「明日の決勝リーグは頑張ろう！」と、ホテルでの美味しい夕食と温泉でリラックスし、2日目に臨みました。

試合では気合いが入って、全員が一戦一戦に集中し、チームワークの良さも出て7勝1敗。その1敗も、わずか1点の差での惜敗でした。他県のチーム、とくに東京都のチームは60歳以上とはいえ皆さん若く元気いっぱい、そのエネルギーに負けていたのかも、と思いました。

閉会式では、東京都のチームとの得失点差での結果待ちでした。「静岡県！」とアナウンスの音が響いた瞬間、「やった！」。まさかの優勝です。この喜びは忘れることはないでしょう。

「ねんりんピックかながわ 2022」に参加して、さまざまな感動があり、忘れられない思い出もたくさんできましたが、中でも、選手バスで他県の選手の皆さんといろいろな話ができて、シニアならではの話にも花を咲かせたことが思い出深いです。やっぱり日ごろからスポーツをやっている皆さんは元気！ 圧倒されました。ホテルでの食事や温泉を共にしたことで交流ができ、楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。

長年インディアカをやってきて、怪我をしたこともありましたが、それでもまたコートに復帰できるよう頑張ったことが思い出されます。運動できるって楽しいです！

大会への参加をサポートしてくださった、しずおか健康長寿財団の皆さまにはチーム一同感謝しております。また、競技会場となった南足柄市の方々からは厚いおもてなしを受けましたし、さまざまな面でサポートしてくださったボランティアの方々も、本当にありがとうございました。これからも元気で、頑張ります。



優勝メダルを首にかけ、誇らしげに記念撮影。(右端)



一戦一戦に集中！





## サッカー 「藤枝フットボールクラブ」(選手)

はかま だ しん ご  
袴田 進吾さん

64 歳

● 参加歴：1 回目

### 県の勝利記録を更新。目指せ、生涯現役！

今回、初めてねんりんピックのサッカー競技に参加させていただきました。静岡県の60歳以上のチームは13チームが登録されており、1年かけてリーグ戦を行い、政令指定都市のチームを除いた上位4チームが本大会に向けてトーナメント方式で戦います。「藤枝フットボールクラブ」は昨年、これに優勝して出場権を得ることができました。

コロナの影響により2年連続で本大会が中止となっているため、出場権は得たものの開催されるか非常に心配でしたが、予定通り開催される運びとなり安堵していたところ、今年の静岡県選手団の「旗手」はサッカー競技からとのこと。初めての参加で全く様子がわからない中で旗手という大役を任され、新たな不安を抱えての参加でした。

開会式のある大会初日、新横浜駅から横浜アリーナに向かう各県の選手の多さと大会規模の大きさに驚かされ、場内の沸き立つ雰囲気の中で旗手として入場行進をさせていただいたことは非常に得難い経験でした。

開会式翌日、初戦の相手は地元の相模原A。ウォーミングアップの時間が短く、初戦の緊張感もあって苦戦を強いられましたが虎の子の1点を守り抜き勝つことができました。午後の2試合目は岐阜県各務原。相手も初戦を勝利しており、これに勝利すれば優勝に大きく近づくということで、チーム全員気合を入れ、2-0で勝利しました。2日目の相手は大分選抜。選抜チームなので苦戦を覚悟しましたが4-0で勝利し、3試合全勝、無失点でグループ優勝することができました。

優勝もさることながら、大会前、先輩達から「最近、静岡県代表は負けたことがない」とプレッシャーをかけられており、勝利記録を更新できたことにもホッとしました。

会場は3試合すべてが人工芝だったため、年寄りには足腰への負担が大きく、身体的には少し厳しかったですが、それ以上に、普段対戦できない県外チームとの試合を通じて交流を深めることができたことは非常に有意義でした。さらに会場の運営に携わってくださった関係者の方々が、出迎えから見送りまで笑顔で手を振ってくださり、親切に対応してくださったことなど非常に印象深く、気持ちよく大会を終えました。

これからも「生涯現役」を目標に健康に留意して、ねんりんピックへの出場を目指して練習に励んでいきます。

最後に大会関係者の方々、しずおか健康長寿財団の皆様には大変お世話になり感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。



無失点全勝で優勝。(後列右から2人目)



総合開会式では静岡県選手団の旗手として堂々の行進。(選手団先頭)



## スポーツチャンバラ

「小坂井童夢殿」(監督兼選手)

すず き とし かず

鈴木 利和 さん

62 歳

● 参加歴：1 回目

## 新種目で初参加。80代の剣士に大きな刺激

今回、スポーツチャンバラが新しくねんりんピックの種目に追加されたということで、非常に楽しみにしていました。

11月12日に愛知県選手団として、新幹線で横浜アリーナへ移動、そのまま開会式に参加しました。開会式は、オリンピックに引けを取らない内容で、とても感動しました。

開会式では地元アナウンサーと榊原郁恵さんがMCを務め、女優の草笛光子さんと、ねんりんピックオリジナルソングを作詞作曲された河村隆一さんがゲストで参加されました。河村さんの国歌斉唱や、ご臨席を賜った三笠宮彬子女王殿下のお言葉もあり、ほかにさまざまな催物が開催され、あつという間の開会式でした。

さて13日はスポーツチャンバラ交流大会が鎌倉市で開催されました。選手総勢42名でのトーナメント制で5種目を戦い、個人戦入賞と、各都道府県による勝ち点ポイントの総合優勝を競いました。

選手の最高齢は85歳でしたが、とても85歳には見えないお姿でした。

愛知県からは私を含めて2名が出場しました。さて自分の結果ですが、長剣フリー種目で何とか優勝できました。総合優勝は1ポイント差で滋賀県が手にし、愛知県は準優勝となりました。ここでいいわけですが、総合ポイントは各チーム3名の勝ち点の合計で競うのですが、愛知県は残念ながら2名の参加しかなく、わずかにポ

イントが稼げなかったということです。

久しぶりの試合で緊張もあったのか、もう少しできたかなという悔しい思いはありましたが、1種目でもメダルが取れたことは良かったと思います。60歳以上とはいえ、中には現在も現役で各種大会に出ている方や、私と同じく、普段は大会役員や審判を務めている方などさまざまでしたが、70歳や80歳になっても動ける人はさすがだと思いましたし、自分もそうなりたいとあらためて思いました。

スポーツチャンバラの試合が毎年ねんりんピックで開催されると、私のようになかなか試合に出られない人も新しい目標として稽古に励めると思いますし、何より大会に参加したことが楽しかったです。

試合の合間には、鎌倉市が用意した地元の銘菓や飲み物のサービス、疲れた身体のマッサージサービスまであり、とても助かりました。競技を指揮された神奈川県スポーツチャンバラ協会の役員をはじめ、ご準備くださった鎌倉市の方々に感謝いたします。



愛知県は2人で参加し、総合で準優勝に輝いた。  
(左から5番目)



個人の長剣フリー種目で優勝！(中央)